

静里なのはな園

日時：平成 19 年 1 1 月 5 日 (月) 13:00 ~ 17:00

平成 19 年 1 1 月 8 日 (木) 9:00 ~ 17:00

場所：高島市新旭町藁園 2 3 0 5

静里なのはな園は、芝生の築山やビオトープのある広い園庭がフィールドです。

プログラムを作る前に下見に行きました。



園周辺の下見では、在来種と外来種の植物が混在していました。しだいに背の高い外来種がはびこることを聞きました。

芝生の上で寝ころび空の変化を観察しました



園庭では、草や石、根っこ、葉っぱなど落ちている自然物を使い「草鬼」や見立てあそびなどをしました。どこにでもあるものをつかってあそびが展開できることがわかりました。



「どんぐりころころの木」のプログラム

「どんぐりころころ」を歌い、子どもたちはどんぐりになって、芝生の山から転がります。その後、支援者が扮したドジョウと一緒に、園庭にある一番太い木やツルツルした木を探します。



ドジョウに扮した支援者とあそびます



この木が一番太いね！

ドジョウのシールを貼ろう

探した木には色別(班別)のドジョウのシールを貼ります

青さんが見つけた木が一番太い。



鉄はツルツルやったけれど、木じゃないから

青が一番長いや！

ツルツルやで！



園にある木も様々な大きさの木があることや違った肌触りの木があることがわかりました。木も人と同じように個性がありました。ツルツルの木を探るときは竹の棒の添え木を探したグループがありました。生きている木とそうでない木の違いを話しました。

「忍者修行」のプログラム

園庭の散歩中に巻物を発見しました。巻物には「忍者の宝物（石、枝、葉）を探してほしい」と書かれていました。



何かあるよ!!

巻物発見



ジャンケン
ポン!

グループによっては、隠す順番をジャンケンで決めました。

う~と
石!!



巻物には「自然の中には忍者の宝物がたくさんあります。大切にしてほしい」と子どもたちへのメッセージでしめくられていました。



巻物です

巻物に書かれてあったあそびをしました。布の下に探してきた宝物を隠し、隠した宝物は何か当てるゲームです。これは忍者になるための練習(修行)です。(透視の術)

参加された先生の

声

自然体験は外出しないとできないと思っていたが、園庭にある自然物を使ってあそべることに気づかされた。

参加するたびにこんな事であそべるのだと気づかされる。自然からのメッセージを伝えられる保育ができるように、支援者も十分気持ちを持って対応していきたい。

木を触ったりする自然体験は保育の中でしたことがなかったので、今後していきたいと思った。

自然の大切さや命の尊さなどのメッセージが伝わり、子どもたちの記憶に残るような体験活動をしていきたい。

Q & A

(解答: 講師 島川武治(しまっち))

Q: 今回のあそびで「ツルツルの木を探す」ときに、木で作られた人工のものを選んだグループがありました。そのとき子どもたちにどんな投げかけをしたらいいのでしょうか?

A: メッセージで何を伝えたいかで判断をします。伝えたいメッセージや年齢によって言葉かけも変わってきます。自然体験において比較することは、物事を捉えるのによい方法ですので、人工物を選んだとき、生きているとはどういうことなのか考えてみるのもよいでしょう。また導入で生きている木なのかそうでないのかを子どもたちと一緒に確認してもよいでしょう。導入は子どもたちに次に何が起こるのだろうと期待をもたせる大事なところですよ。